

令和6年度 学校関係者評価結果について

令和7年6月 沼津市立看護専門学校

本校が自らの教育活動その他の学校運営について組織的・継続的に改善すること、信頼される開かれた学校づくりを進めること、教育の質を保証し、その向上を図ることを目的に、学校関係者評価委員会から、令和6年度学校運営評価（自己点検及び自己評価）に対する評価やご意見をいただきました。

I 学校関係者評価委員会

開催日 令和7年6月16日(月)
場 所 沼津市立看護専門学校1階会議室
委 員 碓谷 明正 沼津市 元副市長
勝山 智男 国立行政法人国立高等専門学校機構
沼津工業高等専門学校 名誉教授
杉山 智美 沼津市立病院 看護部長
勝又 陸 沼津市立看護専門学校 卒業生
(敬称略)

2 令和6年度学校運営評価に対する委員の評価

カテゴリー	R6 学校 運営評価	委員の評価・意見等
I 学校経営	3.70	学校重点目標を3点に絞り、その達成に傾注したことがうかがえる。 入学生の確保が難しい中、新たな入試方法を導入など柔軟で前向きな取組が進められていた。学費の安さをアピールすることや、また市役所における職員募集の取組を参考にするなど、さらなる入学生の確保に努めていただきたい。 看護師国家試験の合格率、卒業生の就職率はともに100%を誇っており、教育の質の高さとキャリア支援の充実がうかがえる。
II 教育課程・ 教育活動	3.87	少人数制の特性を生かし、多様な学生のレベルに応じた適切な指導がなされている。 ICT教育については、段階的に環境整備や教員研修が行われ、電子教科書の導入に至るまで、計画的かつ着実に取り組まれている。
III 入学・卒業 対策	3.90	入学生の確保に苦労している様子がうかがえる。そのような中で、男性が応募しやすい雰囲気をつくることに努めている。 卒業対策としては、看護師国家試験対策・就職指導をよく頑張っている。市内・県東部地区での就職率が高くなっており、今後も継続を望む。

カテゴリー	R6 学校 運営評価	委員の評価・意見等
Ⅳ 学生生活への支援	3.64	授業料を抑え、経済面での学生支援は整っていると思われる。 サークル活動の支援などは今後の課題。 学生満足度調査から得られた学生の要望に対して、実感できる形で支援を取り入れることができると良い。
Ⅴ 管理運営・財政	3.68	災害の発生に備え、防災意識を高めることは極めて重要。
Ⅵ 施設設備	4.11	学生の学習関連施設は充実していると思われる。 一方で空調設備の不調もみられるため、より快適で安全な学習環境の整備が望まれる。
Ⅶ 教職員の育成	3.81	教員の授業参観や相互講評など良い取り組みが行われており、教員のスキル向上に取り組まれている。
Ⅷ 広報・地域活動	3.87	行事を通じて学校の取り組みを外部に発信しようとする姿勢がうかがえる。ホームページの更新にも継続して取り組まれており、情報提供の充実に努めている。 ボランティア募集への協力など、地域のとのつながりを大切にする姿勢も感じられ、今後のさらなる広がりに期待したい。

3 学校運営に対する改善提案等

- 入学生の確保に向けて、入試時期や広報など様々な面からのアプローチが必要である。学費の安さも選ばれる理由になるため、もっと前面に出して発信していくとよい。
- 学生の自治組織を育て、学生とともにボランティア活動やサークル活動を立ち上げていくのがよいのではないかと。少人数制の学校なので、このような組織が教員と学生の枠を超えて、全学校関係者が参加できるようになるとよい。
- 災害時の行動マニュアルを確立・徹底することが重要。防災訓練の実施だけでなく、行動指針や避難経路などを校内に明示するのも大切だと思う。
- ICT 機器を活用した授業が広がる中で、教員が安心して授業づくりに専念できるよう、教員の要望に迅速に対応できる ICT に詳しい支援者が身近にいる体制があると心強い。人的支援の導入も検討していただきたい。
- 学生満足度調査の結果を学生にも共有することで、学校や教員への信頼や関心が高まり、学習意欲の向上にも繋がるのではないかと。